



(C) Yokohama Visitors Guide



病院ホームページ



募集要項



TikTok



Instagram

横浜市立みなと赤十字病院

〒231-8682 神奈川県横浜市中区新山下3丁目12番1号

TEL 045-628-6100 (代表) FAX 045-628-6101 (代表)

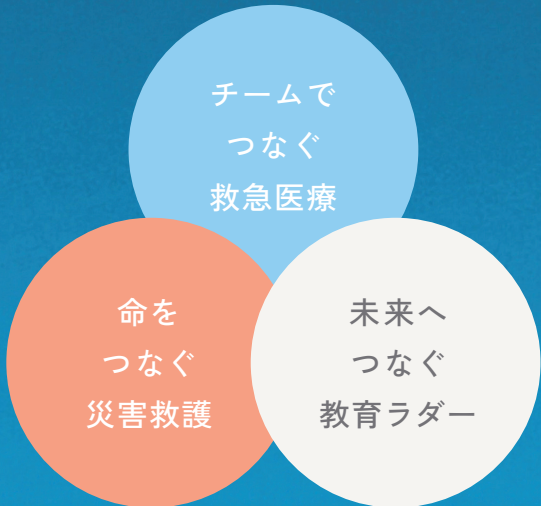


横浜市立みなと赤十字病院

YOKOHAMA CITY MINATO RED CROSS HOSPITAL

PHILOSOPHY 看護部理念

赤十字の理念と病院の方針に基づき、
患者さんがその人らしく生活できるよう、
やさしく的確な看護を実践するために、
たゆまず努力いたします。



副院長兼看護部長 間瀬 照美

当院は設置主体が横浜市、経営は日本赤十字社が担う公設民営病院です。救急搬送の受け入れ数は全国屈指で、救急医療を強みとしています。臨床では、患者の権利を尊重しながら、良質で高度なチーム医療を提供し、市民の健康増進に貢献することをめざしています。また、赤十字ブランドである、災害救援をいつ何時でも行えるよう、入職時から研修制度を整えています。入職者の教育は、チーム全体で「共育」をコンセプトとし、キャリア開発ができるよう多くの研修環境を備えています。全国から集まった、多くの職員と一緒に医療者として成長できる病院です。皆さんと一緒に働けることをお待ちしております。

主な機能

- 地域医療支援病院
- 災害拠点病院
- 救命救急センター
- 地域がん診療連携拠点病院
- 小児救急医療拠点病院
- 地域周産期母子医療センター
- JMIP（外国人患者受入れ医療機関認証制度）認証施設

等

部署案内

8階・透析 腎臓内科・放射線科・歯科口腔外科	5A 精神科
7A 消化器外科	5C 産婦人科
7B 消化器内科	5D 小児科
7C 循環器内科・心臓血管外科	救急
7D 血液内科・内分泌内科・膠原病リウマチ科	ICU
6A 脳神経外科・脳神経内科・眼科	HCU
6B 呼吸器内科・呼吸器外科・耳鼻咽喉科・アレルギー科	手術室
6C 泌尿器科・乳腺外科・形成外科・皮膚科・総合診療科	緩和ケア病棟
6D 整形外科	内視鏡・放射線科
	外来



チームでつなぐ救急医療 専門・認定・特定行為看護師

24時間365日、チームで適切な医療を提供。36の診療科と多彩な専門チームの総合力で、患者さんの予期せぬ不安や苦しみに寄り添い、緊急性や専門性の高い「もしも」を守ります。当院は、たくさんのリソースナースが活躍しています。



急性・重症患者看護専門看護師

救急のその先へ、
生きるを支え希望をつなぐ。



がん専門看護師

チームで支える！
がん看護



慢性疾患看護専門看護師

「病気とともに生きる」ことを
サポートしていきます。

認定看護師



救急看護

患者さんの
命を守ります。



クリティカルケア

重症管理とぬくもりのあるケアで、
早期回復を支えます。



手術看護

チーム医療で安全な手術を提供し、
術後の痛みも最小限にします。



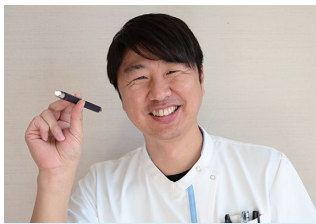
がん化学療法

化学療法を受ける患者さん・
ご家族の意思決定・
セルフケアを支援します。



摂食嚥下障害看護

患者さんの「食べる」を
支えます。



脳卒中リハビリテーション看護

回復する力を
支えます。



皮膚排泄ケア

その人らしさを守る、
WOCの力

専門・認定 看護師

領域（全18領域）／〈専門看護師〉がん看護、急性・重症患者看護、慢性疾患看護 〈認定看護師〉認定看護管理者、感染管理、認知症看護、皮膚・排泄ケア、がん化学療法看護、乳がん看護、がん放射線療法看護、摂食・嚥下障害看護、脳卒中リハビリテーション看護、緩和ケア、手術看護、慢性心不全看護、集中ケア、救急看護、クリティカルケア

特定行為研修修了看護師について「特定行為研修修了区分」



- ・栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連
- ・創傷管理関連
- ・創部ドレーン管理関連
- ・呼吸器（人工呼吸療法／長期呼吸療法に係るもの）関連
- ・動脈血液ガス分析関連
- ・術中麻酔管理関連
- ・栄養に係るカテーテル管理（末梢留置型中心静脈注射用カテーテル管理）関連
- ・循環動態に係る薬剤投与関連
- ・精神及び神経症状に係る薬剤投与関連



命をつなぐ災害救護 救護班・DMAT

赤十字災害救護研修

災害拠点病院としての使命を果たすべくDMAT・救護班派遣等の災害医療に取り組んでいます。大規模災害を想定して受け入れ訓練を地域や関係機関と連携して開催しています。看護師教育として「救護員としての赤十字看護師養成研修」を実施しています。赤十字看護師として災害看護を学ぶにあたり、赤十字の基本原則「人道」を体現する看護師として災害に関する知識や技術を高めることで、災害時に貢献できる人材育成を目指しています。日々の看護実践の延長線上にある災害看護をいつでも・どこでも・誰にでも仲間と共に提供できるように研修を行い準備しています。また、赤十字のこころのケアは被災者の自助を支えることを目的に行われます。被災者自身の力を回復させるに関わります。当院には「こころのケア」の指導員もいます。

国際救援

「赤十字の国際活動を実践する看護職は、人道を基本とした赤十字の7原則に基づき、潜在化・顕在化する世界各地の健康危機に目を向ける。特に強い苦痛に曝されている人々へのヘルスサービスができるようにグローバルな視点を持ち、創造的な活動の推進者として国際社会に貢献する。同時に赤十字の理念、特に人道を具現化し実践できる人材を育成することも望まれる」とされています。国際救護の実績としては、2015年のネパール大地震で、日本赤十字社国際救援活動の緊急対応ユニット（ERU）として看護師を派遣しました。また2017年のバングラデシュ南部避難民救済事業に約4ヶ月派遣し、保健衛生活動に従事しました。国際救護では、現地の文化や生活習慣を大事にして、現地の方たちの支援を中心に行います。

未来へつなぐ教育ラダー

education

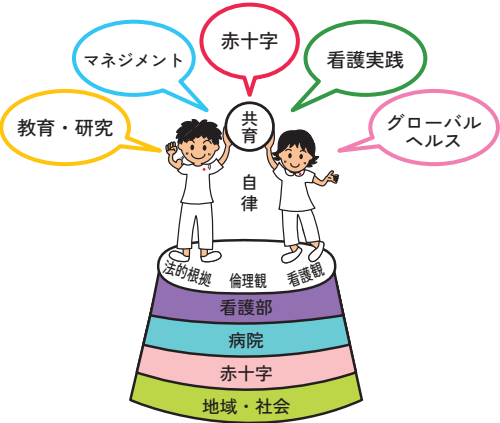
看護部の理念に沿って、
一人ひとりが役割を果たす中で、
自己成長すると共に、
相互に教育しあえる看護職員を育成する。

- 1 赤十字の看護職員としての自覚を持ち、その責任と役割を遂行できる能力を養う。
- 2 専門職業人として自己教育でき、対象に応じた看護を提供できる能力を養う。
- 3 医療チームの一員としての役割を認識し、かかわる人との円滑な人間関係を築くことができる能力を養う。



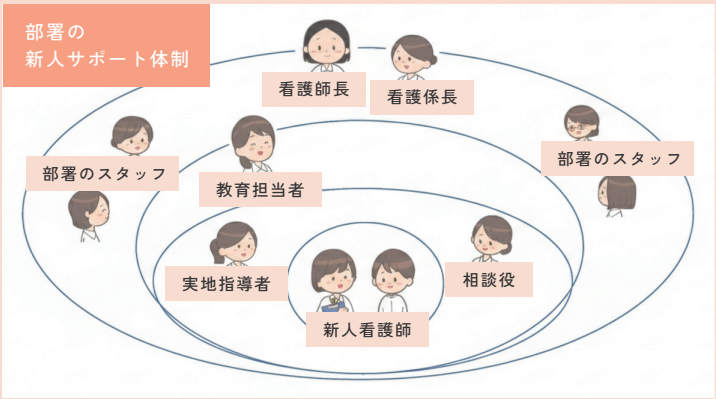
キャリア開発プログラム

横浜市立みなと赤十字病院看護部では、全国の赤十字医療施設共通の継続教育システム「赤十字施設の看護師キャリア開発ラダー」に準じ教育を行っています。看護師は、自分の目標やライフイベントに合わせた能力開発を目指し、自己目標を持って、主体的に教育を受けられるように支援します。



新人看護師教育体制

入職後は集合技術研修を行い、不安や緊張の軽減を図れるように支援します。部署では、新人看護師の目標管理シートを活用し、ナラティブで看護の振り返りを行いながら、個々に合わせた教育支援に努めています。



【教育担当者】部署の中で新人看護師教育のスケジュールなどを構築し、部署全体に周知していきます。新人看護師はもちろんのこと、実地指導者や相談役のサポートもしていきます。
【実地指導者】部署で知識や技術を教えたり、アドバイスをします。
【相談役】新人看護師の身近な先輩として、気持ちを聞いたり、相談にのります。

EVENT CALENDAR 年間スケジュール

4-6月

- ・オリエンテーション
- ・集合技術研修
- ・赤十字新規採用職員基礎研修（日赤神奈川支部）
- ・重症度、医療・看護必要度
- ・一次救命処置



- ・静脈注射研修
- ・夜勤シャドー
- ・看護技術評価
- ・受け持ち看護師としての役割開始
- ・フォローアップ研修
- ・災害救護訓練

- ・チーム医療ワークショップ
- ・グローバルヘルスⅠ



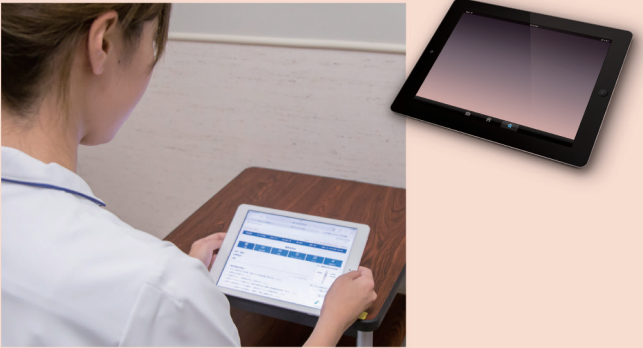
みなと スキルラボ

シミュレーターを使用し、技術のトレーニングを行う専用ラボです。フィジカルアセスメントの学習ができます。



学研メディカル サポート

当院では看護手順が電子カルテに収載され、Web上の「学研メディカルサポート」でいつでも気軽に学習できます。



働きやすい 職場づくり 福利厚生



職員寮



保育園



サークル活動



物品搬送ロボットの導入



医療DXの推進

7-9月

- ・看護倫理Ⅰ
- ・看護技術評価
- ・フィジカルアセスメントⅠ



10-12月

- ・多重課題演習
- ・看護技術評価
- ・静脈注射研修
- ・チーム医療ワークショップ
- ・フォローアップ研修



1-3月

- ・レベルⅡ申請・認定

